

学校コード F134310109857

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

広島工業大学 情報学部 情報コミュニケーション学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人鶴 学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	法人局経営管理部
職名・氏名	カチョウ カミヤマ カズヒロ 課長 上山 和宏
電話番号 (夜間)	082-921-3121
e-mail	bizadmin@it-hiroshima.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

情報学部

<情報コミュニケーション学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 附帯事項等に対する履行状況等	14
7. その他全般的事項	15

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人鶴学園

(2) 大学名

広島工業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒731-5193

広島県広島市佐伯区三宅2丁目1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツル マモル) 鶴 衛 (平成14年4月)		
学長	(ナガサカ ヤスシ) 長坂 康史 (平成31年4月)		
学部長	(ハマサキ トシヒコ) 濱崎 利彦 (平成30年4月)	(ヤマギシ シュウイチ) 山岸 秀一 (令和4年4月)	任期満了による変更(4)
学科長等	(ヤマギシ シュウイチ) 山岸 秀一 (令和2年4月)	(チヨウ ギョウカ) 張 曉華 (令和4年4月)	任期満了による変更(4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
 令和5年度に報告する内容 → (5)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
情報学部 情報コミュニケーション 学科(情報学)	工学関係 経済学関係	4年	110人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	440人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	人	人	人	人	110人	人	110人	人	110人	人	110人	人	110人					
	志願者数	()	()	()	()	868	()	782	()	753	()	719	()	()	1.08倍	—	1.05倍	—	
	受験者数	()	()	()	()	846	()	768	()	734	()	705	()	()					
	合格者数	()	()	()	()	330	()	366	()	378	()	480	()	()					
B	入学者数	()	()	()	()	118	()	116	()	120	()	120	()	()					
	入学定員超過率 B/A							107.27%		105.45%		109.09%		109.09%					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
- ・ 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	118 (-)	[-] (-)	116 (-)	[-] (-)	120 (-)	[1] (-)	[-] (-)	120 (-)	[-] (-)	※R3.4.1 他学科からの転学科：1名 (R2年度入学の2年次生) →R3.9.19退学 ※R4.4.1 他学科からの転学科：1名 (R2年度入学の2年次生(留年))
2年次	/		[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	114 (-)	[-] (-)	114 (4)	[-] (-)	[1] (9)	[-] (-)		
3年次	/		/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	109 (-)	[-] (-)	113 (12)	[-] (-)		
4年次	/		/		/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	101 (-)	[-] (-)		
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	118 (-)	[-] (-)	230 (-)	[-] (-)	343 (4)	[1] (-)	[1] (21)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	118 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	235 人	9 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	7 人	0 人	学力不足(3人)、経済的理由(1人)、健康上の理由(1人)、就学意欲の低下(2人)
			令和3年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2人)
令和4年度	350 人	5 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	4 人	0 人	就学意欲の低下(4人)
			令和4年度	1 人	0 人	学力不足(1人)
令和5年度	462 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		14 人		14 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{118} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{235} = \boxed{3.82} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{350} = \boxed{1.42} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{462} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報学部 情報コミュニケーション学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
リベラルアーツ教育科目	自校教育論	1前	1							1	
	HITリベラルアーツ	1前	1							6	
	アメリカ学A			1						1	
	ヨーロッパ学A			1						1	
	アジア学A			1						1	
	広島学A			1						1	
	スポーツ科学A			1						2	
	生涯スポーツA			2						1	
	アメリカ学B			1						1	
	ヨーロッパ学B			1						1	
	アジア学B			1						1	
	広島学B			1						1	
	スポーツ科学B			1						1	
	生涯スポーツB			2						2	
	地域課題解決実習	1後		1		1					
	海外語学研修	2前		2						1	
	野外活動実習	2後		1						3	
	ボランティア実習	3後		1						1	
	学外研修	3後		2						1	
	派遣留学	3後		2						1	
	インターンシップ	3後			2	1					
	日本国憲法	1後			2					1	
	情報技術基礎	3後			2					1	
小計(23科目)	-		2	23	6	1	1			17	
人文	哲学A			1						1	
	歴史学A			1						1	
	言語・文学A			1						1	
	芸術学A			1						1	
	哲学B			1						1	
	歴史学B			1						1	
	言語・文学B			1						1	
	芸術学B			1						1	
小計(8科目)	-			8						5	
社会	経済学A			1						1	
	法学A			1						1	
	社会学A			1						1	
	心理学A			1						1	
	経済学B			1						1	
	法学B			1						1	
	社会学B			1						1	
	心理学B			1						1	
小計(8科目)	-			8						7	
外国語	ETC A	1前	2			1				4	
	ETC B	1後	2			1				4	
	キャリア英語A	2前	2							5	
	キャリア英語B	2後		2						1	
	プレゼンテーション英語A	3前		2						1	
	プレゼンテーション英語B	3後		2						1	
	技術英語A	3前		2						1	
	技術英語B	3後		2						1	
	中国語 I	1後		2		1				1	
	中国語 II	2前		2		1				1	
小計(10科目)	-		6	14		2				13	
専門教育科目	HIT基礎実践A	1前	2			3	1		2		
	HIT基礎実践B	1前	2			3	3				
	HIT基礎実践C	1後	2			3	1		2		
	HIT基礎実践D	1後	2			3	3				
	HIT応用実践A	2前	2			3	3				
	HIT応用実践B	2前	2			3	1		2		
	HIT応用実践C	2後	2			3	3				
	HIT応用実践D	2後	2			3	1		2		
	小計(8科目)	-		16		6	4		2		
	専門ゼミナールA	3前	2			6	3		2		
	専門ゼミナールB	3後	2			6	3		2		
	卒業研究A	4前	2			6	3		2		
	卒業研究B	4後	2			6	3		2		
	小計(4科目)	-		8		6	3		2		

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
リベラルアーツ教育科目	自校教育論	1前	1								1	
	HITリベラルアーツ	1前	1								13	
	アメリカ学A			1							1	
	ヨーロッパ学A			1							1	
	アジア学A			1							1	
	広島学A			1							1	
	スポーツ科学A			1							1	
	生涯スポーツA			2							3	
	アメリカ学B			1							1	
	ヨーロッパ学B			1							1	
	アジア学B			1							1	
	広島学B			1							1	
	スポーツ科学B			1							1	
	生涯スポーツB			2							3	
	地域課題解決実習	1後		2			2	2	1		5	
	海外語学研修	2前		2							1	
	野外活動実習	2後		1							4	
	ボランティア実習	3後		1							1	
	学外研修	3後		2							2	
	海外体験研修	1後		2							1	
	派遣留学	3後		2							1	
	インターンシップ	3後			2						1	
	日本国憲法	1後			2						1	
経営学入門	1前		2							1		
情報技術基礎	3後			2						1		
小計(25科目)	-		2	27	6	2	2	1			29	
人文	哲学A			1							1	
	歴史学A			1							1	
	言語・文学A			1							1	
	芸術学A			1							1	
	哲学B			1							1	
	歴史学B			1							1	
	言語・文学B			1							1	
	芸術学B			1							1	
小計(8科目)	-			8							4	
社会	経済学A			1							1	
	法学A			1							1	
	社会学A			1							1	
	心理学A			1							1	
	経済学B			1							1	
	法学B			1							1	
	社会学B			1							1	
	心理学B			1							1	
小計(8科目)	-			8							5	
外国語	ETC A	1前	2					1			4	
	ETC B	1後	2					1			4	
	キャリア英語A	2前	2					1			4	
	キャリア英語B	2後		2				1			1	
	プレゼンテーション英語A	3前		2							1	
	プレゼンテーション英語B	3後		2							1	
	技術英語A	3前		2							2	
	技術英語B	3後		2							1	
	中国語 I	1後		2				1			1	
	中国語 II	2前		2				1			1	
小計(10科目)	-		6	14				2			11	
専門教育科目	HIT基礎実践A	1前	2					9	4	1		
	HIT基礎実践B	1前	2					9	4	1		
	HIT基礎実践C	1後	2					9	4	1		
	HIT基礎実践D	1後	2					9	4	1		
	HIT応用実践A	2前	2					9	4	1		
	HIT応用実践B	2前	2					9	4	1		
	HIT応用実践C	2後	2					9	4	1		
	HIT応用実践D	2後	2					9	4	1		
	小計(8科目)	-		16				9	4	1		3
	専門ゼミナールA	3前	2					8	3	1		
	専門ゼミナールB	3後	2					8	3	1		
	卒業研究A	4前	2					8	3	1		
	卒業研究B	4後	2					8	3	1		
	小計(4科目)	-		8				9	3	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	情報数理基礎	1前	2								3
	信号処理数学基礎	1後	2								3
	データ解析入門	1前	2			1					2
	データ解析数学基礎	1後	2			1					2
	発展数学A	3前	2								1
	発展数学B	3前	2			1					
	計測物理実験	2前	2								2
	情報テクノロジー	1前	2								1
	情報マネジメント	1後	2								1
	情報ストラテジ	2前	2								1
	情報とキャリア	1前	1			1					
	情報工学概論	1前	2								3
	情報コミュニケーション概論	1前	2			3	1				
	回路入門	1後	2								2
	情報ネットワーク入門	1後	2								2
	メディア活用	1後	2			1	1				1
	問題解決法	1後	2			1	1				1
	アルゴリズム入門	1後	2			1	1				1
	プログラミング入門	1後	2			1	1				1
	アルゴリズム基礎	2前	2			1	1				1
	プログラミング基礎	2前	2				1				1
	プログラミング応用	2後	2								1
	オブジェクト指向言語	3前	2								1
	アプリケーションデザインA	2後	2			1					2
	アプリケーションデザインB	3前	2			1					2
	経営学	3前	2								1
	ソフトウェア工学	4前	2						1		
	離散数学	2後	2								1
	自然言語処理	3後	2								1
	マルチメディア表現	3前	2			1			1		
	画像音声処理	3後	2			1					
	データ解析	3前	2						1		
	マーケティング	3後	2								1
	シミュレーション	3後	2			1					
	情報システム開発	2後	2				1				
	プロジェクトマネジメント	4前	2			1					
	技術者倫理	3後	1			1					
	知的所有権	4前	2								1
	産学連携実習	3後	2			1					
小計(39科目)	-	-	16	60	7	3		2			31
経営情報システム	インダストリアルエンジニアリング	2前	2			1			1		
	オペレーションズ・リサーチ	2後	2				1		1		
	ファイナンス・マネジメント	3前	2				1				
	技術経営	3後	2			1					
	経営情報システムデザイン	4前	2			2			1		
小計(5科目)	-	-	10		3	1		2			
データサイエンス	データベース	2前	2						2		
	データマイニング	3前	2			1					
	データビジュアライゼーション	3後	2			1					
	ビジネスデータサイエンス	4前	2			1			1		
小計(4科目)	-	-	8		1	1		2			
ソーシャルメディア	ソーシャルネットワーク科学	2後	2				2				
	機械学習	3前	2			1					
	ゲーミフィケーション技術	3後	2			1					
	ソーシャルアプリケーション開発	4前	2			1	2				
小計(4科目)	-	-	8		1	2					1
コミュニケーション	Webデザイン	2前	2			1	1				
	認知科学	2後	2			1					
	行動科学	3前	2			1					
	サイバネティクス	3後	2			1					
	コミュニケーションシステムデザイン	4前	2			2					
小計(5科目)	-	-	10		2	1					
合計(118科目)	-	-	48	149	6	7	5		2		68
卒業要件及び履修方法											
<p>リベラルアーツ教育科目から、必修科目8単位及び選択科目16単位以上、 社会実践教育科目から、必修科目24単位、 専門教育科目から、必修科目16単位及び選択科目60単位以上、 合計124単位以上修得すること。 専門教育科目においては、「専門基盤」分野を除く4つの分野を「経営情報システム」と「データサイエンス」、「ソーシャルメディア」と「コミュニケーション」に区分し、一方の区分から8単位以上、他方の区分から4単位以上(ともに高次レベル科目を除く)修得すること。 1年間に履修の届出を行うことができる単位数の上限は、各年次とも40単位とする(自由科目は算入しない)。ただし、別に定める学生については、この単位数の上限を超えて受講することができる。</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	情報数理基礎	1前	2								1
	信号処理数学基礎	1後	2								1
	データ解析入門	1前	2			1					1
	データ解析数学基礎	1後	2			1					1
	発展数学A	3前	2								1
	発展数学B	3前	2			1					
	計測物理実験	2前	2								4
	情報テクノロジー	1前	2								1
	情報マネジメント	1後	2								2
	情報ストラテジ	2前	2								2
	情報とキャリア	1前	1			1					
	情報工学概論	1前	2								3
	情報コミュニケーション概論	1前	2			3	1				
	回路入門	1後	2								2
	情報ネットワーク入門	1後	2								2
	メディア活用	1後	2			1	1				1
	問題解決法	1後	2			1	1				1
	アルゴリズム入門	1後	2			1	1				1
	プログラミング入門	1後	2			1	1				1
	アルゴリズム基礎	2前	2			1	1				1
	プログラミング基礎	2前	2				1				1
	プログラミング応用	2後	2								2
	オブジェクト指向言語	3前	2								1
	アプリケーションデザインA	2後	2			1					2
	アプリケーションデザインB	3前	2			1					1
	経営学	3前	2								1
	ソフトウェア工学	4前	2							1	
	離散数学	2後	2								1
	自然言語処理	3後	2								1
	マルチメディア表現	3前	2			1					
	画像音声処理	3後	2			1					
	データ解析	3前	2						1		
	マーケティング	3後	2								1
	シミュレーション	3後	2			1					
	情報システム開発	2後	2				1				
	プロジェクトマネジメント	4前	2			1					
	技術者倫理	3後	1			1					
	知的所有権	4前	2								1
	産学連携実習	3後	2			1					
小計(39科目)	-	-	16	60	9	3	1				21
経営情報システム	インダストリアルエンジニアリング	2前	2			1			1		
	オペレーションズ・リサーチ	2後	2				2		1		
	ファイナンス・マネジメント	3前	2			1					
	技術経営	3後	2			1					
	経営情報システムデザイン	4前	2			2			1		
小計(5科目)	-	-	10		3	1		2			
データサイエンス	データベース	2前	2			1	1				
	データマイニング	3前	2			1	1				
	データビジュアライゼーション	3後	2			1					
	ビジネスデータサイエンス	4前	2			1			2	1	
小計(4科目)	-	-	8		1	2	1				
ソーシャルメディア	ソーシャルネットワーク科学	2後	2				1				
	機械学習	3前	2			1					
	ゲーミフィケーション技術	3後	2			1					
	ソーシャルアプリケーション開発	4前	2			2	1				
小計(4科目)	-	-	8		2	1					1
コミュニケーション	Webデザイン	2前	2			2					
	認知科学	2後	2			2					
	行動科学	3前	2			1					
	サイバネティクス	3後	2			1					
	コミュニケーションシステムデザイン	4前	2			3					
小計(5科目)	-	-	10		3	3					
合計(120科目)	-	-	48	153	6	10	5	1			62
卒業要件及び履修方法											
<p>リベラルアーツ教育科目から、必修科目8単位及び選択科目16単位以上、 社会実践教育科目から、必修科目24単位、 専門教育科目から、必修科目16単位及び選択科目60単位以上、 合計124単位以上修得すること。 専門教育科目においては、「専門基盤」分野を除く4つの分野を「経営情報システム」と「データサイエンス」、「ソーシャルメディア」と「コミュニケーション」に区分し、一方の区分から8単位以上、他方の区分から4単位以上(ともに高次レベル科目を除く)修得すること。 1年間に履修の届出を行うことができる単位数の上限は、各年次とも40単位とする(自由科目は算入しない)。ただし、別に定める学生については、この単位数の上限を超えて受講することができる。</p>											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
リベラルアーツ教育科目	自校教育論	1前	1							1	
	HITリベラルアーツ	1前	1							13	
	アメリカ学A		1							1	
	ヨーロッパ学A		1							1	
	アジア学A		1							1	
	広島学A		1							2	
	スポーツ科学A		1							2	
	生涯スポーツA		2							4	
	アメリカ学B		1							1	
	ヨーロッパ学B		1							1	
	アジア学B		1							1	
	広島学B		1							2	
	スポーツ科学B		1							2	
	生涯スポーツB		2							3	
	地域課題解決実習	1後	1			2	2			6	
	海外語学研修	2前	2							1	
	野外活動実習	2後	1							4	
	ボランティア実習	3後	1							1	
	学外研修	3後	2							1	
	海外体験研修	1後	2							1	
	派遣留学	3後	2							1	
	インターンシップ	3後		2	1						
	日本国憲法	1後		2						1	
	情報技術基礎	3後		2						1	
小計(24科目)	-	-	2	25	6	2	2			28	
人文	哲学A			1						2	
	歴史学A			1						1	
	言語・文学A			1						1	
	芸術学A			1						2	
	哲学B			1						2	
	歴史学B			1						1	
	言語・文学B			1						1	
	芸術学B			1						2	
小計(8科目)	-	-	8							6	
社会	経済学A			1						2	
	法学A			1						1	
	社会学A			1						2	
	心理学A			1						3	
	経済学B			1						2	
	法学B			1						1	
	社会学B			1						1	
	心理学B			1						3	
小計(8科目)	-	-	8							9	
外国語	ETC A	1前	2			1				4	
	ETC B	1後	2			1				4	
	キャリア英語A	2前	2			1				4	
	キャリア英語B	2後	2							1	
	プレゼンテーション英語A	3前	2							1	
	プレゼンテーション英語B	3後	2							1	
	技術英語A	3前	2							1	
	技術英語B	3後	2							1	
	中国語 I	1後	2			1				1	
	中国語 II	2前	2			1				1	
小計(10科目)	-	-	6	14		2				9	
専門教育科目	HIT基礎実践A	1前	2			8	4	1			
	HIT基礎実践B	1前	2			7	4	1			
	HIT基礎実践C	1後	2			7	4	1			
	HIT基礎実践D	1後	2			8	4	1			
	HIT応用実践A	2前	2			8	4	1			
	HIT応用実践B	2前	2			7	4	1			
	HIT応用実践C	2後	2			7	4	1			
	HIT応用実践D	2後	2			8	4	1		3	
	小計(8科目)	-	-	16		8	4	1			3
	専門ゼミナールA	3前	2			8	3	1			
	専門ゼミナールB	3後	2			8	3	1			
	卒業研究A	4前	2			8	3	1			
卒業研究B	4後	2			8	3	1				
小計(4科目)	-	-	8		8	3	1				

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
リベラルアーツ教育科目	自校教育論	1前	1							1	
	HITリベラルアーツ	1前	1							13	
	アメリカ学A		1							1	
	ヨーロッパ学A		1							1	
	アジア学A		1							1	
	広島学A		1							2	
	スポーツ科学A		1							2	
	生涯スポーツA		2							4	
	アメリカ学B		1							1	
	ヨーロッパ学B		1							1	
	アジア学B		1							1	
	広島学B		1							1	
	スポーツ科学B		1							1	
	生涯スポーツB		2							2	
	地域課題解決実習	1後	1			1	3			5	
	海外語学研修	2前	2							1	
	野外活動実習	2後	1							4	
	ボランティア実習	3後	1							1	
	学外研修	3後	2							1	
	海外体験研修	1後	2							1	
	派遣留学	3後	2							1	
	インターンシップ	3後		2	1						
	日本国憲法	1後		2						1	
	情報技術基礎	3後		2						1	
小計(24科目)	-	-	2	25	6	2	3			26	
人文	哲学A			1						2	
	歴史学A			1						1	
	言語・文学A			1						1	
	芸術学A			1						2	
	哲学B			1						1	
	歴史学B			1						1	
	言語・文学B			1						1	
	芸術学B			1						1	
小計(8科目)	-	-	8							6	
社会	経済学A			1						2	
	法学A			1						1	
	社会学A			1						2	
	心理学A			1						3	
	経済学B			1						1	
	法学B			1						1	
	社会学B			1						1	
	心理学B			1						1	
小計(8科目)	-	-	8							8	
外国語	ETC A	1前	2			1				4	
	ETC B	1後	2			1				4	
	キャリア英語A	2前	2			1				4	
	キャリア英語B	2後	2							1	
	プレゼンテーション英語A	3前	2							1	
	プレゼンテーション英語B	3後	2							1	
	技術英語A	3前	2							1	
	技術英語B	3後	2							1	
	中国語 I	1後	2			1				1	
	中国語 II	2前	2			1				1	
小計(10科目)	-	-	6	14		2				15	
専門教育科目	HIT基礎実践A	1前	2			6	5	1	1		
	HIT基礎実践B	1前	2			5	5	1	1		
	HIT基礎実践C	1後	2			5	5	1	1		
	HIT基礎実践D	1後	2			6	5	1	1		
	HIT応用実践A	2前	2			6	4	1	1		
	HIT応用実践B	2前	2			5	4	1	1		
	HIT応用実践C	2後	2			5	4	1	1		
	HIT応用実践D	2後	2			6	5	1	1	3	
	小計(8科目)	-	-	16		6	5	1	1		3
	専門ゼミナールA	3前	2			6	4	1	1		
	専門ゼミナールB	3後	2			6	4	1	1		
	卒業研究A	4前	2			6	4	1	1		
卒業研究B	4後	2			6	4	1	1			
小計(4科目)	-	-	8		6	4	1	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	情報数理基礎	1前	2			1					1
	信号処理数学基礎	1後	2			1					1
	データ解析入門	1前	2			1					1
	データ解析数学基礎	1後	2			1					1
	発展数学A	3前	2								1
	発展数学B	3前	2			1					
	計測物理実験	2前	2								5
	情報テクノロジー	1前	2			1					1
	情報マネジメント	1後	2								2
	情報ストラテジ	2前	2								2
	情報とキャリア	1前	1			1					
	情報工学概論	1前	2								3
	情報コミュニケーション概論	1前	2			3	1				
	回路入門	1後	2								2
	情報ネットワーク入門	1後	2				1				1
	メディア活用	1後	2			1					1
	問題解決法	1後	2				1				1
	アルゴリズム入門	1後	2			1					
	プログラミング入門	1後	2			2					
	アルゴリズム基礎	2前	2			1					
	プログラミング基礎	2前	2			2					
	プログラミング応用	2後	2								1
	オブジェクト指向言語	3前	2				1				
	アプリケーションデザインA	2後	2			1					
	アプリケーションデザインB	3前	2					1			
	経営学	3前	2								1
	ソフトウェア工学	4前	2					1			
	離散数学	2後	2								1
	自然言語処理	3後	2								1
	マルチメディア表現	3前	2			1					
	画像音声処理	3後	2			1					
	データ解析	3前	2				1				
	マーケティング	3後	2			1					
	シミュレーション	3後	2			1					
	情報システム開発	2後	2					1			
	プロジェクトマネジメント	4前	2				1	1			
	技術者倫理	3後	1			1					
	知的所有権	4前	2								1
	産学連携実習	3後						1			
小計(39科目)	-	16	60		9	3	1			20	
経営情報システム	インダストリアルエンジニアリング	2前	2		1		1				
	オペレーションズ・リサーチ	2後	2			2					
	ファイナンス・マネジメント	3前	2		1						
	技術経営	3後	2		1						
	経営情報システムデザイン	4前	2		2						
小計(5科目)	-	10			4	2	1				
データサイエンス	データベース	2前	2		1	1					
	データマイニング	3前	2		1						
	データビジュアライゼーション	3後	2		1						
	ビジネスデータサイエンス	4前	2		2	1					
小計(4科目)	-	8			1	2	1				
ソーシャルメディア	ソーシャルネットワーク科学	2後	2			1					
	機械学習	3前	2		1					1	
	ゲーミフィケーション技術	3後	2		1						
	ソーシャルアプリケーション開発	4前	2		2	1					
小計(4科目)	-	8			2	1				1	
コミュニケーション	Webデザイン	2前	2		1						
	認知科学	2後	2		1						
	行動科学	3前	2		1					1	
	サイバネティクス	3後	2		1					1	
	コミュニケーションシステムデザイン	4前	2		2					1	
小計(5科目)	-	10			2					2	
合計(119科目)	-	48	151	6							

卒業要件及び履修方法

リベラルアーツ教育科目から、必修科目8単位及び選択科目16単位以上、
 社会実践教育科目から、必修科目24単位、
 専門教育科目から、必修科目16単位及び選択科目60単位以上、
 合計124単位以上修得すること。
 専門教育科目においては、「専門基盤」分野を除く4つの分野を「経営情報システム」と「データサイエンス」、「ソーシャルメディア」と「コミュニケーション」に区分し、一方の区分から8単位以上、他方の区分から4単位以上(ともに高次レベル科目を除く)修得すること。
 1年間に履修の届出を行うことができる単位数の上限は、各年次とも40単位とする(自由科目は算入しない)。ただし、別に定める学生については、この単位数の上限を超えて受講することができる。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	情報数理基礎	1前	2			1					1
	信号処理数学基礎	1後	2			1					1
	データ解析入門	1前	2			1					1
	データ解析数学基礎	1後	2			1					1
	発展数学A	3前	2								1
	発展数学B	3前	2			1					
	計測物理実験	2前	2								3
	情報テクノロジー	1前	2			1					2
	情報マネジメント	1後	2								2
	情報ストラテジ	2前	2								2
	情報とキャリア	1前	1			1					
	情報工学概論	1前	2								3
	情報コミュニケーション概論	1前	2			3	1				
	回路入門	1後	2								2
	情報ネットワーク入門	1後	2				1				1
	メディア活用	1後	2			1					1
	問題解決法	1後	2				1	1			
	アルゴリズム入門	1後	2			1				1	
	プログラミング入門	1後	2			2					
	アルゴリズム基礎	2前	2			1					
	プログラミング基礎	2前	2			1					
	プログラミング応用	2後	2								1
	オブジェクト指向言語	3前	2				1				
	アプリケーションデザインA	2後	2			1					
	アプリケーションデザインB	3前	2					2			
	経営学	3前	2					1			
	ソフトウェア工学	4前	2							1	
	離散数学	2後	2								1
	自然言語処理	3後	2								1
	マルチメディア表現	3前	2			1					
	画像音声処理	3後	2			1					
	データ解析	3前	2				1				
	マーケティング	3後	2			1					
	シミュレーション	3後	2			1					
	情報システム開発	2後	2					1			
	プロジェクトマネジメント	4前	2				1	1			
	技術者倫理	3後	1			1					
	知的所有権	4前	2								1
	産学連携実習	3後						1			
小計(39科目)	-	16	60		6	4	1	1	1	18	
経営情報システム	インダストリアルエンジニアリング	2前	2		1		1				
	オペレーションズ・リサーチ	2後	2			2					
	ファイナンス・マネジメント	3前	2		1		1				
	技術経営	3後	2		1						
	経営情報システムデザイン	4前	2		2						
小計(5科目)	-	10			3	2	1				
データサイエンス	データベース	2前	2		1	1					
	データマイニング	3前	2				1				
	データビジュアライゼーション	3後	2		1						
	ビジネスデータサイエンス	4前	2		2	1					
小計(4科目)	-	8			1	2	1				
ソーシャルメディア	ソーシャルネットワーク科学	2後	2			1					
	機械学習	3前	2		1						
	ゲーミフィケーション技術	3後	2		1						
	ソーシャルアプリケーション開発	4前	2		1	2					
小計(4科目)	-	8			1	2					
コミュニケーション	Webデザイン	2前	2		1						
	認知科学	2後	2							1	
	行動科学	3前	2		1					1	
	サイバネティクス	3後	2		1					1	
	コミュニケーションシステムデザイン	4前	2		2					1	
小計(5科目)	-	10			2					2	
合計(119科目)	-	48	151	6							

卒業要件及び履修方法

リベラルアーツ教育科目から、必修科目8単位及び選択科目16単位以上、
 社会実践教育科目から、必修科目24単位、
 専門教育科目から、必修科目16単位及び選択科目60単位以上、
 合計124単位以上修得すること。
 専門教育科目においては、「専門基盤」分野を除く4つの分野を「経営情報システム」と「データサイエンス」、「ソーシャルメディア」と「コミュニケーション」に区分し、一方の区分から8単位以上、他方の区分から4単位以上(ともに高次レベル科目を除く)修得すること。
 1年間に履修の届出を行うことができる単位数の上限は、各年次とも40単位とする(自由科目は算入しない)。ただし、別に定める学生については、この単位数の上限を超えて受講することができる。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手					
リベラルアーツ教育科目	総合	自校教育論	1前	1			1								13	
	HITリベラルアーツ	1前	1												1	
	アメリカ学A			1											1	
	ヨーロッパ学A			1											1	
	アジア学A			1											1	
	広島学A			1											1	
	スポーツ科学A			1											2	
	生涯スポーツA	1後		2											3	
	アメリカ学B			1											1	
	ヨーロッパ学B			1											1	
	アジア学B			1											1	
	広島学B			1											1	
	スポーツ科学B			1											1	
	生涯スポーツB			2											2	
	地域課題解決実習	1後		1			1	3							2	
	海外語学研修	2前		2											1	
	野外活動実習	2後		1											3	
	ボランティア実習	3後		1											1	
	学外研修	3後		2											1	
	派遣留学	3後		2											1	
	インターンシップ	3後			2	1										
	日本国憲法	1後			2										2	
	情報技術基礎	3後			2										1	
	小計(23科目)	-		2	23	6	2	3							25	
	人文	哲学A			1											2
		歴史学A			1											1
		言語・文学A			1											1
		芸術学A			1											2
		哲学B			1											1
歴史学B				1											1	
言語・文学B				1											1	
芸術学B				1											1	
小計(8科目)		-		8											6	
社会		経済学A			1											2
法学A			1											1		
社会学A			1											1		
心理学A			1											1		
経済学B			1											1		
法学B			1											1		
社会学B			1											1		
心理学B			1											1		
小計(8科目)	-		8											7		
外国語	ETC A	1前		2												
	ETC B	1後		2											5	
	キャリア英語A	2前		2											5	
	キャリア英語B	2後		2											1	
	プレゼンテーション英語A	3前		2											1	
	プレゼンテーション英語B	3後		2											1	
	技術英語A	3前		2											1	
	技術英語B	3後		2											1	
	中国語Ⅰ	1後		2			1									
	中国語Ⅱ	2前		2			1									
小計(10科目)	-		6	14			1							13		
専門教育科目	実践基礎	HIT基礎実践A	1前	2			6	4	1	1						
		HIT基礎実践B	1前	2			5	4	1	1						
		HIT基礎実践C	1後	2			5	4	1	1						
		HIT基礎実践D	1後	2			6	3	1	1					1	
		HIT応用実践A	2前	2			2	3								
		HIT応用実践B	2前	2			3	2								
		HIT応用実践C	2後	2			3	2								
		HIT応用実践D	2後	2			3	2								
	小計(8科目)	-		16			6	4	1	1					1	
	実践発展	専門ゼミナールA	3前	2			6	4								
		専門ゼミナールB	3後	2			6	4								
		卒業研究A	4前	2			6	4								
		卒業研究B	4後	2			6	4								
		小計(4科目)	-		8			6	4							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	情報数理基礎	1前		2		1						1	
	信号処理数学基礎	1後		2		1						1	
	データ解析入門	1前	2			1						1	
	データ解析数学基礎	1後	2			1						1	
	発展数学A	3前		2								1	
	発展数学B	3前		2		1							
	計測物理実験	2前		2								2	
	情報テクノロジー	1前		2								2	
	情報マネジメント	1後		2								2	
	情報ストラテジ	2前		2								1	
	情報とキャリア	1前	1			1							
	情報工学概論	1前		2								3	
	情報コミュニケーション概論	1前		2		3	1						
	回路入門	1後		2								2	
	情報ネットワーク入門	1後		2				1				1	
	メディア活用	1後		2		1	1					1	
	問題解決法	1後		2		1	1						
	アルゴリズム入門	1後		2		1	1						
	プログラミング入門	1後		2		1	1						
	アルゴリズム基礎	2前		2			1						
	プログラミング基礎	2前		2			1						
	プログラミング応用	2後		2								1	
	オブジェクト指向言語	3前		2								1	
	アプリケーションデザインA	2後		2		1						1	
	アプリケーションデザインB	3前		2		1						1	
	経営学	3前		2								1	
	ソフトウェア工学	4前		2					1				
	離散数学	2後		2								1	
	自然言語処理	3後		2								1	
	マルチメディア表現	3前		2		1			1				
	画像音声処理	3後		2		1							
	データ解析	3前		2			1						
	マーケティング	3後		2								1	
	シミュレーション	3後		2		1							
	情報システム開発	2後		2			1						
	プロジェクトマネジメント	4前		2		1							
	技術者倫理	3後	1			1							
	知的所有権	4前		2								1	
	産学連携実習	3後		2		1							
	小計(39科目)	-		16	60								17
	経営情報システム	インダストリアルエンジニアリング	2前		2		1	1					
		オペレーションズ・リサーチ	2後		2			2					
		ファイナンス・マネジメント	3前		2			1					
		技術経営	3後		2		1						
		経営情報システムデザイン	4前		2		2			1			
小計(5科目)	-		10		3	1			2				
データサイエンス	データベース	2前		2			1						
	データマイニング	3前		2			1						
	データビジュアライゼーション	3後		2		1							
	ビジネスデータサイエンス	4前		2				2					
	小計(4科目)	-		8		1	1			2			
ソーシャルネットワーク	ソーシャルネットワーク科学	2後		2			2						
	機械学習	3前		2		1							
	ゲーミフィケーション技術	3後		2			1						
	ソーシャルアプリケーション開発	4前		2		1	2						
	小計(4科目)	-		8		1	2						
コミュニケーション	Webデザイン	2前		2		1	1						
	認知科学	2後		2		1							
	行動科学	3前		2		1							
	サイバネティクス	3後		2		1							
	コミュニケーションシステムデザイン	4前		2		2							
小計(5科目)	-		10		2	1							
合計(118科目)	-		48	149	6								

卒業要件及び履修方法

リベラルアーツ教育科目から、必修科目8単位及び選択科目16単位以上、
 社会実践教育科目から、必修科目24単位、
 専門教育科目から、必修科目16単位及び選択科目60単位以上、
 合計124単位以上修得すること。
 専門教育科目においては、「専門基盤」分野を除く4つの分野を「経営情報システム」と「データサイエンス」、「ソーシャルメディア」と「コミュニケーション」に区分し、一方の区分から8単位以上、他方の区分から4単位以上(ともに高次レベル科目を除く)修得すること。
 1年間に履修の届出を行うことができる単位数の上限は、各年次とも40単位とする(自由科目は算入しない)。ただし、別に定める学生については、この単位数の上限を超えて受講することができる。

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・授業形態の変更により、「自校教育論」の専任教員の配置を「兼任・兼担1」から「准教授1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「HITリベラルアーツ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担13」に変更。
- ・履修系統の変更により、「生涯スポーツA」の配当年次を「1前後・2前後」から「1後・2前後」に変更。
- ・授業形態の変更により、「生涯スポーツA」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・授業形態の変更により、「地域課題解決実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」「准教授3」「兼任・兼担2」に変更。
- ・授業形態の変更により、「日本国憲法」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・授業形態の変更により、「哲学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・授業形態の変更により、「芸術学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・授業形態の変更により、「経済学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・授業形態の変更により、「ETC A」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼担4」から「兼任・兼担5」に変更。
- ・授業形態の変更により、「ETC B」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼担4」から「兼任・兼担5」に変更。
- ・授業形態の変更及び担当教員昇任により、「HIT基礎実践A」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「助教2」から「教授6」「准教授4」「講師1」「助教1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「HIT基礎実践B」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授3」から「教授5」「准教授4」「講師1」「助教1」に変更。
- ・授業形態の変更及び担当教員昇任により、「HIT基礎実践C」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「助教2」から「教授5」「准教授4」「講師1」「助教1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「HIT基礎実践D」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授3」から「教授6」「准教授3」「講師1」「助教1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員退職により、「HIT応用実践A」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授3」から「教授3」「准教授2」に変更。
- ・担当教員昇任及び退職により、「HIT応用実践B」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「助教2」から「教授3」「准教授2」に変更。
- ・担当教員退職により、「HIT応用実践C」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授3」から「教授3」「准教授2」に変更。
- ・担当教員昇任及び退職により、「HIT応用実践D」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「助教2」から「教授3」「准教授2」に変更。
- ・担当教員昇任及び退職により、「専門ゼミナールA」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授3」「助教2」から「教授6」「准教授4」に変更。
- ・担当教員昇任及び退職により、「専門ゼミナールB」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授3」「助教2」から「教授6」「准教授4」に変更。
- ・担当教員昇任及び退職により、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授3」「助教2」から「教授6」「准教授4」に変更。
- ・担当教員昇任及び退職により、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授3」「助教2」から「教授6」「准教授4」に変更。
- ・授業形態の変更により、「情報数理基礎」の専任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「教授1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「信号処理数学基礎」の専任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「教授1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「データ解析入門」の専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼担2」から「教授1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「データ解析数学基礎」の専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼担2」から「教授1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「情報テクノロジー」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・授業形態の変更により、「情報マネジメント」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・授業形態の変更により、「情報ネットワーク入門」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「准教授1」「兼任・兼担1」に変更。

- ・担当教員退職により、「アプリケーションデザインA」の専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼担2」から「教授1」「兼任・兼担1」へ変更。
- ・担当教員退職により、「アプリケーションデザインB」の専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼担2」から「教授1」「兼任・兼担1」へ変更。
- ・担当教員昇任により、「データ解析」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」へ変更。
- ・担当教員昇任により、「イנדустリアル・エンジニアリング」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」へ変更。
- ・担当教員昇任により、「オペレーションズ・リサーチ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「准教授2」へ変更。
- ・担当教員昇任及び退職により、「データベース」の専任教員等の配置を「助教2」から「准教授1」へ変更。
- ・担当教員昇任により、「ビジネスデータサイエンス」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「准教授2」へ変更。

【令和3年度】

- ・授業形態の変更により、「生涯スポーツA」の専任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・専任教員の退職により、「マルチメディア表現」の専任教員の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「情報システム開発」の専任教員の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「プロジェクトマネジメント」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「産学連携実習」の専任教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「イנדустリアル・エンジニアリング」の専任教員の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「ファイナンシャルマネジメント」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「経営情報システムデザイン」の専任教員の配置を「教授2」「助教1」から「教授2」に変更。
- ・授業形態の変更により、「データベース」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「データマイニング」の専任教員の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「ビジネスデータサイエンス」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授2」「講師1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「ソーシャルネットワーク科学」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「Webデザイン」の専任教員の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「認知科学」の専任教員の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「行動科学」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「サイバネティックス」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「コミュニケーションシステムデザイン」の専任教員の配置を「教授2」から「教授2」「助教1」に変更。
- ・授業形態の変更により、「広島学A」の専任教員の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。

【令和4年度】

- ・授業形態の変更により、「自校教育論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「広島学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「スポーツ科学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「生涯スポーツB」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
 - ・担当教員の昇任及び授業形態の変更により、「地域課題解決実習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授3」「兼任・兼任5」から「教授2」「准教授2」「兼任・兼任6」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「哲学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「芸術学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「経済学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「心理学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職により、「HIT基礎実践A」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授5」「講師1」「助教1」から「教授8」「准教授4」「講師1」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職により、「HIT基礎実践B」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授5」「講師1」「助教1」から「教授7」「准教授4」「講師1」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職により、「HIT基礎実践C」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授5」「講師1」「助教1」から「教授7」「准教授4」「講師1」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職により、「HIT基礎実践D」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授5」「講師1」「助教1」から「教授8」「准教授4」「講師1」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職及び授業形態の変更により、「HIT応用実践A」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授4」「講師1」「助教1」から「教授8」「准教授4」「講師1」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職及び授業形態の変更により、「HIT応用実践B」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授4」「講師1」「助教1」から「教授7」「准教授4」「講師1」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職及び授業形態の変更により、「HIT応用実践C」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授4」「講師1」「助教1」から「教授7」「准教授4」「講師1」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職により、「HIT応用実践D」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授5」「講師1」「助教1」「兼任・兼任3」から「教授8」「准教授4」「講師1」「兼任・兼任3」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職により、「専門ゼミナールA」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授4」「講師1」「助教1」から「教授8」「准教授3」「講師1」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職により、「専門ゼミナールB」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授4」「講師1」「助教1」から「教授8」「准教授3」「講師1」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職により、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授4」「講師1」「助教1」から「教授8」「准教授3」「講師1」に変更。
 - ・担当教員の昇任・着任・退職により、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授4」「講師1」「助教1」から「教授8」「准教授3」「講師1」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「計測物理実験」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任5」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「情報テクノロジー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。
 - ・担当教員の昇任により、「メディア活用」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼任1」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「問題解決法」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「准教授1」「兼任・兼任1」に変更。
 - ・担当教員の退職により、「アルゴリズム入門」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
 - ・担当教員の昇任により、「プログラミング入門」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「アルゴリズム基礎」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・担当教員の昇任により、「プログラミング基礎」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「オブジェクト指向言語」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
-
- ・授業形態の変更により、「アプリケーションデザインA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「アプリケーションデザインB」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
 - ・担当教員の着任により、「マーケティング」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「情報システム開発」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
 - ・担当教員の着任により、「ファイナンシャルマネジメント」の専任教員等の配置を「准教授1」「講師1」から「教授1」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「データマイニング」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
 - ・授業形態の変更により、「機械学習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。
 - ・担当教員の昇任により、「ゲーミフィケーション技術」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・担当教員の昇任により、「ソーシャルアプリケーション開発」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
 - ・担当教員の退職により、「認知科学」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
 - ・担当教員の退職により、「行動科学」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
 - ・担当教員の退職により、「サイバネティクス」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
 - ・担当教員の退職により、「コミュニケーションシステムデザイン」の専任教員等の配置を「教授2」「助教1」から「教授2」に変更。

【令和5年度】

<p>・授業形態の変更により、「広島学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「スポーツ科学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「生涯スポーツA」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「広島学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「スポーツ科学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「地域課題解決実習」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「兼任・兼任6」から「教授2」「准教授2」「講師1」「兼任・兼任5」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「学外研修」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・教育課程の変更により、授業科目「経営学入門」（1年次前期選択2単位）を追加し、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」とした。</p> <p>・授業形態の変更により、「哲学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「芸術学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「哲学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「芸術学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「経済学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「社会学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「心理学A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「経済学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「心理学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「キャリア英語B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「技術英語A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</p> <p>・担当教員の着任、授業形態の変更により、「HIT基礎実践A」の専任教員の配置を「教授8」「准教授4」「講師1」から「教授9」「准教授4」「講師1」に変更。</p> <p>・担当教員の着任、授業形態の変更により、「HIT基礎実践B」の専任教員の配置を「教授7」「准教授4」「講師1」から「教授9」「准教授4」「講師1」に変更。</p> <p>・担当教員の着任、授業形態の変更により、「HIT基礎実践C」の専任教員の配置を「教授7」「准教授4」「講師1」から「教授9」「准教授4」「講師1」に変更。</p> <p>・担当教員の着任、授業形態の変更により、「HIT基礎実践D」の専任教員の配置を「教授8」「准教授4」「講師1」から「教授9」「准教授4」「講師1」に変更。</p> <p>・担当教員の着任、授業形態の変更により、「HIT応用実践A」の専任教員の配置を「教授8」「准教授4」「講師1」から「教授9」「准教授4」「講師1」に変更。</p> <p>・担当教員の着任、授業形態の変更により、「HIT応用実践B」の専任教員の配置を「教授7」「准教授4」「講師1」から「教授9」「准教授4」「講師1」に変更。</p> <p>・担当教員の着任、授業形態の変更により、「HIT応用実践C」の専任教員の配置を「教授7」「准教授4」「講師1」から「教授9」「准教授4」「講師1」に変更。</p> <p>・担当教員の着任、授業形態の変更により、「HIT応用実践D」の専任教員の配置を「教授8」「准教授4」「講師1」「兼任・兼任3」から「教授9」「准教授4」「講師1」「兼任・兼任3」に変更。</p> <p>・担当教員の着任・退職により、「計測物理実験」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「情報ネットワーク入門」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「アルゴリズム入門」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「プログラミング入門」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2」「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「アルゴリズム基礎」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「プログラミング基礎」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2」「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・担当教員の着任・退職により、「プログラミング応用」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「アプリケーションデザインB」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1」「兼任・兼任1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「プロジェクトマネジメント」の専任教員等の配置を「准教授1」「講師1」から「教授1」に変更。</p> <p>・授業形態の変更により、「経営情報システムデザイン」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。</p> <p>・担当教員の着任により、「Webデザイン」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。</p> <p>・担当教員の着任により、「認知科学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。</p> <p>・担当教員の着任により、「コミュニケーションシステムデザイン」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。</p>

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	89 科目	3 科目	118 科目	26 科目 [—]	91 科目 [2]	3 科目 [—]	120 科目 [2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{118} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積： 8111.49㎡ 借用期間：20年		
	校舎敷地	175,391.50㎡	㎡	㎡	175,391.50㎡	借用面積： 10131.06㎡ 借用期間：30年		
	運動場用地	93,172.56㎡	㎡	㎡	93,172.56㎡			
	小 計	268,564.06㎡	㎡	㎡	268,564.06㎡	借用面積： 2024.56㎡ 借用期間：50年		
	そ の 他	105,103.44㎡	㎡	㎡	105,103.44㎡			
合 計	373,667.50㎡	㎡	㎡	373,667.50㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積： 1408.31㎡ 借用期間：20年 借用面積： 7679.79㎡ 借用期間：30年			
	128,134.30㎡ (128,134.30㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	128,134.30㎡ (128,134.30㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	66 67 室	32 34 30 室	274 272 203 室	11 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		令和5年4月 専任教員1名を新規 採用のため(5)		
	情報学部	情報コミュニケーション学科		17 16 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書及び視聴覚資料の 差異は購入に伴う純増 (2) 学術雑誌の数値変更 は、調査時点の差異に よる(2) 図書及び視聴覚資料の 数値変更は購入に伴う 純増(3) 学術雑誌の数値変更は 契約雑誌変更(3) 図書の数値変更は購入 に伴う純増(4) 学術雑誌の数値変更は 契約雑誌変更(4) 図書の数値変更は購入 に伴う純増(5) 外国語図書の数値変更 は除籍による(5) 学術雑誌の数値変更は 契約雑誌変更(5)
	情報コミュニ ケーション学科	23,087 [4,138] 19,200 [2,600] (25,618 [4,554]) (25,091 [4,565]) (24,756 [4,497]) (23,104 [4,139]) (18,755 [2,500])	15 [6] 15 [3] (4 [0]) (5 [0]) (6 [0]) (13 [2]) (12 [0])	0 [0] 0 [0]	423 290 (440) (423) (210)	0 (0)	0 (0)	
	計	23,087 [4,138] 19,200 [2,600] (25,618 [4,554]) (25,091 [4,565]) (24,756 [4,497]) (23,104 [4,139]) (18,755 [2,500])	15 [6] 15 [3] (4 [0]) (5 [0]) (6 [0]) (13 [2]) (12 [0])	0 [0] 0 [0]	423 290 (440) (423) (210)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	開 覧 座 席 数	取 納 可 能 冊 数					
	5,239.50㎡ 5,779.50㎡ 6,304.78㎡	361 386 444	409,194 417,361			改装工事による(3) 配置換え等による (4)		
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	9,417 ㎡	【五日市キャンパス】ラグビー兼サッカー場(人工芝)1面、エスキートコート4面、アーチェリー場、武道館1棟、室内温水プール25m×8コース 【沼田キャンパス】野球場(人工芝)、テニスコート3面、馬場、屋外プール25m×5コース 【キャンパス外】オムニテニスコート3面、弓道場、ヨット艇庫、ボート艇庫						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	
	教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当 り納付金	第1年次 1340千円	第2年次 1380千円	第3年次 1380千円	第4年次 1380千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	広島工業大学										1	0	1	0
	平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率(控除後)	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度			
工学部												広島県広島市佐伯区		
電子情報工学科	4	70	-	280	学士(工学)	1.12	-	1.1	1.07	-	平成12	三宅二丁目1-1		
電気システム工学科	4	90	-	360	学士(工学)	0.99	-	0.98	-	-	平成12	同上		
機械システム工学科	4	120	-	480	学士(工学)	0.92	-	0.92	-	-	平成12	同上		
知能機械工学科	4	90	-	360	学士(工学)	0.91	-	0.91	-	-	平成12	同上		
環境土木工学科	4	70	-	280	学士(工学)	1.03	-	1.06	1.03	-	平成28	同上		
建築工学科	4	120	-	460	学士(工学)	1.09	-	1.11	1.09	令和5	平成18	同上	定員変更(10)	
(工学部計)	4	560	-	2220	-	1.00	-	1.01	1	-	平成28	-		
情報学部														
情報工学科	4	110	-	440	学士(情報学)	1.09	-	1.1	1.07	-	平成18	同上		
情報コミュニケーション学科	4	110	-	440	学士(情報学)	1.07	-	1.05	-	-	令和2	同上		
知的情報システム学科	4	-	-	0	学士(情報学)	-	-	-	-	-	平成18	同上	令和2年度から学生募集停止	
(情報学部計)	4	220	-	880	-	1.08	-	1.09	1.07	-	平成18	-		
環境学部														
建築デザイン学科	4	110	-	420	学士(環境学)	1.10	-	1.07	1.05	令和5	平成28	同上	定員変更(10)	
地球環境学科	4	70	-	280	学士(環境学)	1.02	-	1.01	0.98	-	平成18	-		
(環境学部計)	4	180	-	700	-	1.07	-	1.05	1.02	-	平成28	-		
生命学部														
生体医工学科	4	60	-	240	学士(生体医工学)	0.67	-	0.64	-	-	平成24	同上		
食品生命科学科	4	60	-	280	学士(食品生命科学)	0.89	-	0.84	-	令和5	平成24	同上	定員変更(Δ20)	
(生命学部計)	4	120	-	520	-	0.78	-	0.75	-	-	平成24	-		
大学全体(学部)	4	1080	-	4320	-	1.00	-	1	0.98	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・令和2年3月北上始教授の定年退職により、令和2年4月神垣太持講師就任。
- ・令和2年3月荒木直樹准教授の退職により、令和2年5月現在後任公募中。
- ・令和2年3月健山智子助教の退職により、令和2年5月現在後任公募中。
- ・令和2年4月牧野遼作助教就任。

【令和3年度】

- ・令和3年4月住田光子准教授就任。
- ・令和4年3月若林忠彦教授の退職。
- ・令和4年3月牧野遼作助教の退職。

【令和4年度】

- ・令和4年4月白石俊輔教授、大森一也教授就任。

【令和5年度】

- ・令和5年4月安藤明伸教授就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	5
10	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	5	0	2	15	0	11	5	1	0	17	0
(8)	(5)	(1)	(1)	(15)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
11	5	1	0	17	0	11	5	1	0	17	0
[▲3]	[-]	[▲1]	[△2]	[▲2]	[-]	[▲3]	[-]	[▲1]	[△2]	[▲2]	[-]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授 68 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{15} = \boxed{113.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{17} = \boxed{5.88} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1											
2											
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)							
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 ・ 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	助教	牧野 遼作	R4.3	必修	アルゴリズム入門	①	R3.3.31付け一身上の都合のため辞任 (R4)						
				選択	行動科学	①							
				選択	サイバネティクス	①							
				選択	認知科学	①							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)									
辞任した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{15} = 6.66 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>教員の辞任があった場合は早急に後任人事を検討する。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和2年)	<p>・ 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	遵守事項	<p>完成年度（令和5年度）までに定年を迎える教員については、特任教員として継続雇用し、同学科の教育基盤の構築及び教育研究技術の継承を行うこととする。また、定年後に特任教員として継続雇用を予定している者の後任人事を早期に着手し、年齢の構成バランスを考慮した採用を行うとともに、現有の若手教員の育成に取組むこととする。（2）（4）</p> <p>定年を超える教員への対応として、毎年度、新たな教員を採用してきており、今年度においても1名の教授を採用した。定年延長した残りの1名については、今年度末をもって退職予定である。今後とも年齢の構成バランスを考慮した採用を行うとともに、現有の若手教員の育成に取組むこととする。（5）</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）（5）」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報学部 情報コミュニケーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・平成18年度に、HIT教育機構 FD・教育評価部門を設置した。
- ・令和2年4月からHIT教育機構 FD・教育評価部門と他の部門を統合し、教育開発部門を設置した。
- ・令和3年9月に教育開発センターに名称を変更した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和4年度の開催状況及び教員出席者数

第1回教育開発センター会議	R4.06.10	出席9人（うち教員7人）
第2回教育開発センター会議	R4.07.29	出席8人（うち教員6人）
第3回教育開発センター会議	R4.09.28	書面審議
第4回教育開発センター会議	R4.10.25	出席8人（うち教員6人）
第5回教育開発センター会議	R4.12.09	出席8人（うち教員6人）
第6回教育開発センター会議	R5.02.21	書面審議

c 委員会の審議事項等

- ・組織的かつ計画的なFDの研究開発、授業改善に関すること全般

② 実施状況

a 実施内容

- ・全学FD
- ・FD研究会
- ・FD茶話会（新任教員のための研修）
- ・授業公開ウィーク
- ・全教員、全授業科目での授業アンケート(web)の実施・分析
- ・SD（教員にも関連のあるテーマの場合）

b 実施方法

- ・HIT教育機構 教育開発センターが企画し、原則全教員出席の「全学FD」やテーマや対象者に応じた「FD研究会」等を実施した。
- ・すべての授業科目を対象とし、相互の授業方法及び内容の改善に役立てる目的で授業公開を実施した。
- ・授業アンケートは、全ての専任教員・非常勤講師を対象としてwebにより実施し、教員別の結果を本人に配付している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【カリキュラム・プログラム開発に関する全学FD講演会】対象：全教員

- ・第1回全学FD 「昨年度実施した活動の振り返り」
令和4年6月20日（月）～7月22日（金） オンデマンド開催 参加者 169人
- ・第2回全学FD 「GPAについて」
令和5年3月6日（月） 参加者 137人

【授業・教授法の開発に関する行事】対象：一部教員

- ・第1回FD茶話会 「新任教員研修」
令和4年4月1日（金）、4月4日（月） 令和4年度就任教員対象
- ・第1回FD研究会 IoT等研究活動情報交換イベント「Pecha Kucha広島工大」
令和5年3月13日（月）参加者32人

【全教職員への啓発が必要なSD】対象：全教員

- ・動画研修「メンタルヘルスとレジリエンス」
「職場でのハラスメント防止に向けて」
令和4年3月18日（金）～6月30日（木） オンライン（オンデマンド）開催

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・目的や対象者別に体系化したFDを実施した。
- ・令和4年度はオンライン及び対面による開催とし、開催後には当日の動画や資料を集約し、アーカイブを作成した。
- ・参加者にはアンケートの提出を求め、結果の集計とレポートを実施した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業アンケートとしてwebにより実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員と学生に対して、各々の結果を公開している。
- ・教員は授業アンケート結果をもとに授業改善に努めている。また、HIT教育機構では、1年に1回、全体的なデータ分析を機関紙に掲載している。
- ・シラバスに「授業改善点など」という項目を設けて、授業科目担当教員が行う当該授業の改善点を明記することとした。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和2年度に設置した情報学部情報コミュニケーション学科では、設置の趣旨に基づき編成した教育課程表に従い、自ら課題を発見・解決し社会実践力を養う「社会実践教育科目」などによって高度情報技術者の育成を進めている。

教育活動の点検評価については、内部質保証の推進に責任を負う全学的な組織として学長の下に設置した内部質保証推進委員会及び自己点検・評価委員会で行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和5年3月30日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上で公表

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4年度に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）による認証評価を受審し、評価機関が定める評価基準に適合しているとの認定を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。